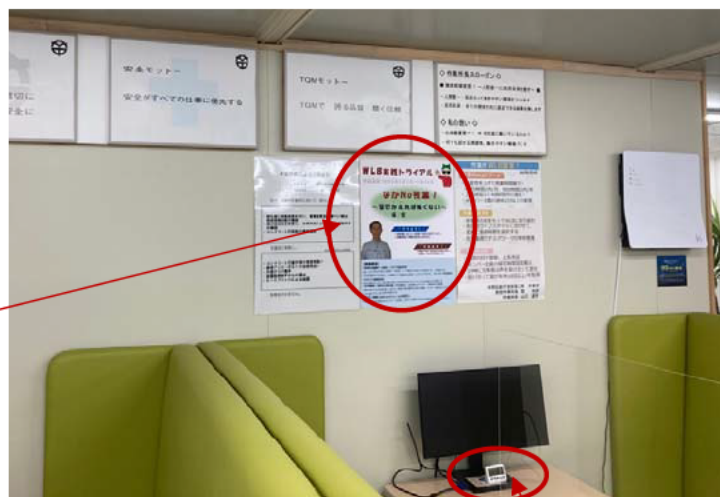


2024年に適用される時間外労働の上限規制に向けて、社内では、残業時間を2024年までに段階的に減らしていく目標を掲げています。

当作業所では、WLB実施トライアルとして「なかNo残業！」を実施しています。ポスターを掲示し所内全体で取り組み、退社しやすい環境が形成されています。完全No残業デーにはクラブ活動などを実施することで、個人の残業時間の削減・業務の効率化にもつながっています。

ポスター掲示事例



タイマー設置

WLB実践トライアル

実施期間：2022年9月1日～9月30日



なかNo残業！

～皆でかえれば怖くない～
帰 / 変



「 やります ! 」

- 業務量に応じた人員配置・役割分担を行います。
- 即断即決・明確な指示を心がけます。

「 やめます ! 」

- 会議の内容・出席者の見直しを行い、会議数・出席者を削減します。

【実施事項】

「完全No残業デーの設定」(クラブ活動併用)

週に1回工事Gを対象にNo残業デーを設定し、17時半に夕礼を行って区切りをつけ、一斉退社する。早く帰る理由付けを目的とし、小規模のクラブ活動をNo残業デーに合わせて予定する。(食歩き・映画鑑賞等)

「バリエブル勤務活用」

早出当番の早上がり、残業当番の朝礼不参加等状況に応じたフレキシブルな勤務体系を構築する。

「在宅勤務」・「閉所日土曜出勤(平日振休)」を活用したデスクワーク専念日の設定

家庭の都合で在宅勤務が難しい場合に土曜祝日等の閉所日に敢えて出勤し、デスクワーク専念日とする。

(その週の平日に振休取得を前提とする)

「タイマー設置によるタイムスケジュールの明確化」

打合せテーブルや各自の机上にタイマーを設置し、設定した時間内で打合せや業務を終える意識付けを行う。